



【成年女子3000m予選1組】組トップで決勝に進んだ八学大の上野恵理子

○：成年女子3000mの国体を見据え、今季はマでは、上野恵理子と木村咲 ススタートに取り組んできた上野、残り2周から責任勝進出。組1位でゴールした上野は「今までの5回出陣した。国体でもなかなかないような良い展開だった」と喜んだ。

シングルトラックレース

木村は、レース途中で前

を滑っていた3人が一斉に転倒するハプニングがありながらも、冷静なレース運びで組3位で通過。

12人で争う決勝に向け、「次も何があるか分からない。周りをしっかり見ながら滑りたい」と力を込めた。

八学大勢が躍進 成年女子3000m

村崎(光星高)予選落ち

少年女子1000m、終盤力尽き



【少年女子1000m予選3組】決勝進出を果たせず、無念の表情でクールダウンする村崎香穂(八学光星高)

○：少年女子1000m 学光星高は、無念の3位で予選3組の村崎香穂(八)となり、決勝進出を逃し

た。「最後は力が残っていなかった」と、うなだれた。

最初に責任先頭を完了し、一度下がって、ラスト1周で勝負。監督の指示通りの展開だったが、スタミナに課題があり、ライバルをマークする戦い方が自分に合っているかどうかわからないという。最終盤は必死のラストスパートで2位選手の背中を追ったが、「一歩届かなかった。」「もっとうまく立ち回れば...。目を腫らし、納得いくレースができなかったことを悔やんだ。」